

# 私たちは “健全な塗装業界の確立”を目指します。

一般社団法人日本塗装協会は、3つの理念を掲げ、当協会の理念に賛同していただいた施工会員が全国47都道府県すべてに登録されております。会員総数は、1,200社(平成23年5月31日現在)を超え、非営利団体としては塗装業界最大級の団体です。



不透明な  
塗装業界の  
改善

3つの理念

塗装技術の  
標準化

健全な  
塗装業界の  
確立

塗装工事は、車や家電製品のように工場で作られた製品を販売するわけではありません。塗料と職人の技術が加わって初めて「塗膜」という「製品」になります。つまり、塗装工事は、完成されていない商品をお客様は買うことになるのです。

このことが塗装業界を「不透明な業界」にしております。具体的には、安価な塗料を使用しても高価な塗料を使用しても見た目にはわからず、3回塗りを1回塗りにしてしまっても仕上がってしまえば見た目ではわかりません。また、工事金額も業者によってまちまちで統一されておられません。

それゆえに塗装工事のトラブルが絶えないのが実情です。

日本塗装協会は、当協会の理念である不透明な塗装業界を改善し、職人のあたりはずれがないように塗装技術を標準化し、健全な塗装業界の確立に努めております。

幸いなことに当協会の理念に賛同していただいている施工会員は、増え続けておりますので、近い将来に「健全な塗装業界の確立」が実現することと確信しております。

## 塗装業界の新たな風

### 塗装を通じて社会に貢献します。

「使い捨て」の時代から「物を大切にする」時代へと変わり、建物や住宅も安易に壊さず、大切に使い続けていくことが求められております。

塗装は、古くなった建物や住宅を「再生」させることが可能ですので、「物を大切にする」ことに塗装で貢献出来ると考えております。

また、日本塗装協会は、塗装を通じて「社会貢献」出来ないかと常に考え続けており、東日本大震災における塗装業界の支援活動として「オール節電塗装」を推奨し、「節電」に協力しております。

「オール節電塗装」とは、家を丸ごと(屋根・外壁・窓ガラス)遮熱塗料で塗装することです。塗装後には、夏は涼しく、冬は暖かくなりますので夏の冷房費、冬の暖房費が抑えられ、塗装で節電が可能になり、電気代の節約にも繋がります。

さらに、塗装で節電出来ることをより多くの方に知っていただくために広報活動に力を注ぎ、非営利団体の特性を活かし低価格でご提供し、「オール節電塗装」の普及を進めております。

### 塗装の可能性を広げていきます。

塗装は、アイデア一つで可能性が広がります。

日本塗装協会は、塗装工事を「美観のため」や「素材の保護」にとどまらず、「塗装で節電」・「塗装で防犯」・「塗装で癒し」など、塗装の可能性を広げております。

塗装は、まだまだたくさんの可能性を秘めております。日本塗装協会は、塗装の可能性を引き出すために日々アイデアを出し続けております。

### “信用”と“マナー”を追求します。

同じ塗装会社に依頼しても、塗装の仕上がりには差が出ます。これは職人の技術にばらつきがあるためです。

こうした現状を改善するため、日本塗装協会では、独自の技術検定制度を実施し、職人の技術を標準化し、職人の“あたりはずれ”をなくしています。

また、「塗装業はサービス業」と捉え“マナー”を重視し「職人マナー検定」を実施しています。職人のマナー改善に努め、「職人は頑固」・「職人は怖い」・「職人はマナーが悪い」という塗装業界を過去のものとし、日本塗装協会の理念の「健全な塗装業界の確立」を実現いたします。

